

平成23年度 上田電鉄㈱生活交通改善事業計画（鉄道軌道安全輸送設備等整備事業）

1. 事業の目的・必要性

別所線は生活に密着した公共交通機関で、観光を軸とした産業面や地球規模での対応が必要な環境面、更には文化的・教育的側面においても重要な交通機関であるが、開業後90年を経過し、施設全体の老朽化が進んでいる。特に、レールや枕木等の線路設備、橋梁等土木構造物、踏切保安設備は、安全輸送に直結する根幹的な設備であり、高い安全性が求められている。そのため、これらの改修、更新を行い輸送の安全の確保を図る。

①レール重軌条化

37kg レールを 50N レールに交換してレールの耐久性を向上させるとともに、車輪横圧による軌間変位を防ぎ、運行の安全性向上を図る。

②コンクリート枕木化

木枕木をコンクリート枕木化することにより、車輪横圧による軌間変位を防ぎ、運行の安全性向上、乗心地の向上を図る。

③軌道道床硬質構造化

道床碎石を交換し、さらに路盤にセメントをまぜ固めることにより、墳泥を抑え、道床の目詰まりを防ぎ、運行の安全性乗心地の向上を図るもの。

④踏切保安設備の更新

踏切保安設備を高規格化踏切保安設備に更新し、保守の軽減、保安性の向上を図る。

⑤橋梁塗装

塗膜の劣化が進行しているため、既存の塗料より高機能な塗料で塗装を行い、橋梁の延命及び保守の軽減を図る。

2. 事業の定量的な目標及び効果

経常赤字（平成22年度：612万円）を生じている中、地域公共交通確保維持改善事業費補助制度を活用し、老朽化した鉄道施設の改修・更新を行うことにより、119万人（年間利用者）の輸送の安全を向上させる。

3. 事業の内容と当該事業を実施する事業者

別紙に記載

4. 事業に要する費用の総額、負担者及びその負担額

平成23年度事業費（総額） 75,150千円

負担額	国	: 25,050千円	(負担割合 33.3%)
	長野県	: 12,315千円	(負担割合 16.4%)
	上田市	: 36,945千円	(負担割合 49.2%)
	上田電鉄	: 840千円	(負担割合 1.1%)

5. 計画期間

別紙に記載

6. 協議会の開催状況と主な議論

- ・平成17年2月28日(第1回) 協議会設立、国土交通省に提出する平成17年度から5ヵ年の経営改善に向けての再生計画の採択
- ・平成17年3月29日(第2回) 別所線の経営改善に向けた再生計画の具体的推進体制や活性化策についての協議
- ・平成18年5月23日(第3回) 上田電鉄の収支報告、「乗って残そう戦略プロジェクト」の実績報告
- ・平成19年1月16日(第4回) 上田電鉄の利用促進事業の紹介、平成18年12月までの輸送実績の報告、利用促進についての協議
- ・平成19年5月23日(第5回) 上田電鉄の利用促進事業の紹介、「乗って残そう戦略プロジェクト」の活動内容、平成18年度の輸送実績の報告
- ・平成20年5月23日(第6回) 上田電鉄の利用促進事業の紹介、「乗って残そう戦略プロジェクト」の活動内容、平成19年度の輸送実績の報告
- ・平成21年5月12日(第7回) 「交通関係環境保全優良事業者等大臣表彰」受賞の報告、平成20年度の活動実績及び平成21年度の事業推進体制についての協議
- ・平成22年7月 1日(第8回) 5ヵ年(平成17~21年度)の実績報告及び今後3ヵ年(平成22~24年度)の計画についての協議、「上田電鉄別所線の運行に関する協定」の調印式
- ・平成23年6月 1日(第9回) 平成22年度の実績報告及び今後5ヵ年(平成23~27年度)の計画についての協議
- ・平成23年6月 7日(予定) 上田市公共交通活性化協議会に「生活交通改善事業計画」の提出について報告

(協議会の構成)

関係都道府県・市区町村

長野県、上田市

関係交通事業者

東日本旅客鉄道(株)、しなの鉄道(株)、千曲バス(株)
上田バス(株)、上田電鉄(株)

国

北陸信越運輸局(オブザーバー)

その他

上田市議会、上田市教育委員会、上田市自治会連合会、上田商工会議所
上田観光コンベンション協会、別所線電車存続期成同盟会、別所線の将来を考える会
別所線の存続を求める市民の会、別所温泉観光協会、別所温泉旅館組合
上田婦人団体連絡協議会、上田市福寿クラブ連合会、上田市PTA連合会
上小高等学校校長会、長野大学、上田女子短期大学、信州うえだ農業協同組合
上田交通(株)

別所線再生支援協議会

平成23年 月 日

